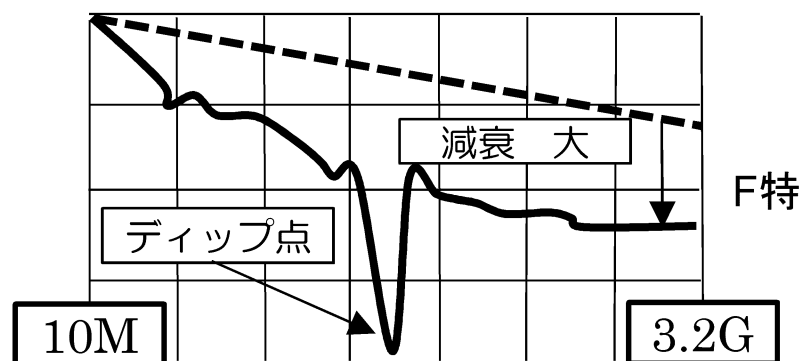


当社独自の技術 ケーブル伝送テスト

4K・8K 東京オリンピック あなたがお住いのマンションは大丈夫！

- ◆スーパーハイビジョンの電波は、現在のBS110° CS放送より高い周波数（2.6GHz→3.2GHz）を使って伝送される予定です。（総務省）
- ◆現在、BSが伝送されているマンションでも、スーパーハイビジョンには対応できない場合があります。
- ◆機器（増幅器、分岐器等）は新製品に交換できますが、交換が困難なのが「同軸ケーブル」です。
- ◆そこで、現在の「同軸ケーブル」の特性を把握し、交換が必要か否かの判断をするのが当社独自の「ケーブル伝送テスト」です。（26年以上の実績あり）
- ◆同軸ケーブルの特性は、周波数に比例して減衰している場合は、補正で活用可能ですが、図のようにディップ点や異常に多い減衰量の場合は同軸ケーブルの交換が必要になります。



- ◆さらに、当社では「ケーブル伝送テスト」の結果を独自に開発したソフトで分析し、迅速に改善のご提案をいたします。

難物デジタル受信障害調査、R&S製 PR100による調査（スペアナで見えない電波や瞬時の障害も探知します）、エリア放送の調査・設計・コンサルティング等

受信サービス株式会社

〒113-0022 東京都文京区千駄木5丁目2番20号
電話 03 (3821) 3231 (代表) FAX 03 (5685) 5241
ご相談 専用電話 03 (3822) 8888

詳細は弊社HP を参照ください <http://www.jushin-s.co.jp/>